



日本国憲法 教育基本法  
学校教育法 こども基本法  
学習指導要領  
第4期教育振興基本計画  
さいたま市教育行政方針  
さいたま市教育ビジョン  
さいたま市教育アクションプラン  
さいたま市SSSP  
教育課程編成要領

児童の実態  
地域の特性  
保護者・地域の願い  
学校の実態  
教師の教育理念



### 学校教育目標

かしこく (知)

やさしく (徳)

たくましく (体)

#### 目指す学校像

- 明るく元気のある学校
- 互いに学び合う学校
- 安心・安全な学校
- 地域に開かれた学校

#### コミュニティスクール

#### 学校経営方針

#### 目指す児童像

- 自分の力で考え行動する子
- ともだちと協働する子
- 心身ともに健康な子
- 人との関わりを大切にする子

- 1 全ての児童が Well-being を実感できる学校を目指す、組織的に活動する学校作りの推進
- 2 研究と修養に努め、児童が自分で学びを作る魅力ある質の高い授業の実践
- 3 児童の人権・生命を尊重するとともに、個人情報適切な管理を行う健康で安全な学校づくりの推進
- 4 コミュニティスクールを活用した、保護者・地域とともに歩む学校教育の推進

蓮沼小コミュニティスクール基本理念  
○ あいさつがひびきあう学校づくり  
○ 地域が子どもたちをそだてる環境づくり

#### 今年度の重点目標

- 凡事徹底を基本とした児童の育成
  - ・「元気なあいさつ」の継続
  - ・基本的生活習慣の確立
  - ・「蓮小しぐさ」の定着、行動化
  - ・主体的に学校経営に参画できる教職員の育成
  - ・職に誇りを持ち、知恵を出し合う教職員組織の充実

- 研修による授業力向上
  - ・自立した学習者の育成＝学習の自己調整力の向上
  - ・児童用端末を利用した個別最適な学びを提供する授業実践
  - ・主体的な学びを実践する学校課題研究の充実
  - ・児童の体力向上を目的とした学習活動の展開
  - ・スクールダッシュボードなどを活用した児童の情報分析

- チーム蓮沼として行う生徒指導・教育相談
  - ・積極的な生徒指導(発達支持的生徒指導)の展開
  - ・蓮沼委員会での確実な情報共有
  - ・児童の発達過程を支える教育相談の実施
  - ・関係機関との積極的な連携
  - ・「報告・連絡・相談・見届け」の徹底
  - ・個人情報を適切に管理する組織体制の構築
  - ・児童の健康の安全の確保

- 保護者・地域の実態に応じた活動実践
  - ・PTAと連携した児童の安全確保
  - ・各自治会、育成会、子ども会等と連携した地域活動への協力体制の充実
  - ・児童が企画する地域活動の実践
  - ・保護者・地域の声を集約できる教育DXを活用した学校運営の実践

〔具体的な方策〕

PLAN THE NEXT 3つのGとの関わり

- 1 豊かな心の育成
  - ・あいさつ運動の推進
  - ・基本的生活習慣の定着
  - ・「蓮小しぐさ」の実践
  - ・心を潤す4つの言葉の徹底
  - ・子どもとともに取り組む美化(清掃)活動の推進
  - ・朝読書による落ち着いた生活、学校図書館教育の充実
  - ・「特別の教科 道徳」の実践
  - ・「考える道徳」、「議論する道徳」へ

<Grit・Growth>

- 2 確かな学力・体力の充実
  - ・一人一台端末を活用した個別最適な学び・協働的な学びの実践。
  - ・「学びの指標」を意識した授業改善
  - ・教科担任制を活用した指導法の工夫改善
  - ・STEAMS TIME・総合的な学習の時間を活用した主体的な学びの実践
  - ・最後まであきらめずに学習に取り組む意欲の育成
  - ・授業や体育的行事等を通じた児童の体力向上
  - ・健康について自ら学び実践できる環境づくり

<Grit・Growth・Global>

- 3 積極的な生徒指導の実践、児童の健康管理
  - ・児童が自主的に発達できる学年・学級経営の充実(自己決定の場の提供)
  - ・共感的な人間関係の育成と組織的な生徒指導の充実(共通理解・共通行動)
  - ・児童の成長を支える教育相談の充実(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等関係機関との連携)
  - ・「いじめ」の早期発見、早期対応(いじめを察知する力の向上、アンケートの活用、面談の実施等)
  - ・食物アレルギーへの明確な対応
  - ・安全管理の徹底と子どもたちの安全に対する意識の向上

<Growth>

- 4 地域と共に歩む学校の推進
  - ・教育活動の積極的な公開(各種たより、あいさつ運動、学校公開、行事、金管バンド)と地域行事への参加
  - ・コミュニティスクールの推進
  - ・学校評価による学校の課題分析
  - ・SSNを基本とした学校・地域連携コーディネーター、保護者、地域との連携
  - ・地域から学ぶ教育課程の充実(全教科領域)
  - ・地域・保護者の協力によるボランティア(防犯・図書・学習・はすネット・チャレンジ・はすメイト等)

<Grit・Growth>